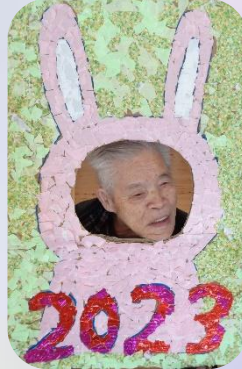




作：ひまわり



◆CONTENTS◆

- 『会長コラム』……………②
- 『理事長コラム』……………③
- 『特集』～各事業所の活動や行事～…④⑤⑥
- 『供養式・職員リレー・研修報告』……………⑦
- 『守る会・ボランティア・寄付・みんなの部屋
なんでも掲示板 ……………⑧



【すぎのこ会HP】

<https://www.suginokokai.or.jp>

インスタグラムはこちら ➡

ホームページと併せて、是非ご覧ください。





『年頭に当たって』～一隅を照らす～



《会長 岩崎 俊雄》

新年明けましておめでとうございます。昨年は、コロナ感染症の再拡大に伴う対応等で、利用者、保護者をはじめ関係する皆さまに多大のご心配とご協力を賜りました。加えて、任期途中の理事長交代人事にご理解を頂きましたことに対しまして、改めて、心よりお礼申し上げます。

このような状況の中にもありましたが、「ひのきの杜共生」と「愛晃の杜」の改修工事を完了させ、延び延びになっていた「すぎのこ」の増改築工事に着手することができました。「すぎのこ」増改築工事の完了まで、工事期間中ご不便をおかけすることになるものと思いますが、より快適な生活、活動を送ることができるよう、ご協力をお願いいたします。

また、昨年は、個人事を含めてではありますが、故岩崎房一郎初代理事長の33回忌の法要を執り行い、繰り出し位牌に納めることができました。これを機に、これまで初代理事長についてお話しする機会がありませんでしたので、郷土史に詳しい方が書かれた故人に関する紹介記事の一部を転載させていただきますことにします。

・・・氏は、代々農業を経営して繁栄を続ける岩崎家の長男として大正9年10月15日に生まれ、郷校から旧制栃木中学校に進んで勉学を続けた。卒業後は家業に従事していたが、昭和16年2月に第835部隊に入隊、その後満州派遣となり付近の警備に当たった。大東亜戦争勃発後は中支に転属となり、昭和20年8月15日に応城で終戦となる。抑留を経て、翌21年6月に上海から佐世保港に上陸して復員、陸軍伍長。戦後は農業に従事する傍ら、岩舟町議会議員2期、同議会副議長、農協理事、農業共済組合監事、PTA副会長、区長等として地域活動に率先している。・・・

その後、昭和50年6月24日、社会福祉法人すぎのこ会設立時の初代理事長に就任し、本会最初の施設「すぎのこ学園」の敷地及び設立時の基本金の提供等平成2年11月18日に没するまで、無報酬理事長として本会発展のために尽力いただきました。本会に対する故人の功績に、改めて敬意と感謝の意を表するとともに、冥福を祈る次第です。

ところで、恒例となった新年を祝う今年の我が家の掛け軸の一幅は、京都大原三千院の元御門主、故小堀光詮大僧正様から頂いた、天台宗御開祖である伝教大師最澄の教えである『照千一隅』としました。この教えは本会の慰霊碑の碑文としても刻印させていただいていますが、理事長を辞任し、会長として初めて迎えた新年に当たり、改めて『人の命と人権を護る』ため、一隅を照らし続けたいと心に念じておりますので、本年も皆様の変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。





「新年を迎えて」



《理事長 岩崎 好宏》

新型コロナウイルス第8波が続く中、令和5年（2023）年を迎えました。入所施設やグループホームといった居住系の施設・事業所の職員は、大変な緊張感の中、年末年始も昼夜を問わず支援・介護にあたっており、“いのち”と“くらし”を守ってくれていることに心より感謝いたします。

前号のすぎのこだより発行以降、保育園や障害者施設等での職員による虐待報道が相次ぎました。コロナ対応や人員不足等でストレスを抱える職員、マネジメント能力や権利擁護意識が欠如している管理者、重度障害のためコミュニケーションが難しい利用者、利用させていただいているという弱い立場の保護者・・・、背景や原因を考えていくと、当会にもあてはまることが多々あります。

他人事ではなく自分事と捉え、今一度、生命の尊厳と人権擁護の意識をしっかりと自省することが大切だと考えます。職員一人ひとりの自己改革の上に、法人として学び（自己研鑽）の場、支援・介護の喜びや自己成長の確認の機会を提供していくことが重要だと感じています。支援・介護は一人で創れるものではありませんので、職員が同じ志で結ばれるような組織を目指していかなければなりません。そのために、職員には、学び、考え続ける人間であってほしいと伝え続けてまいります。

初詣やスポーツ観戦をしながら、日本は、古くから「和」を大切にしてきたことを改めて感じました。これは、自分を持たずに人の意見に従うという「同」と異なり、違いを認め合うことであり、個人を大事にする文化です。個を活かした中で、まとめていくことが和です。「互いを理解して、互いを思いやる。」「互いに助け合い、尊重し合いながら、共に幸せに暮らすことを願う。」令和5（2023）年も、役職員一丸となって“和の心”でつながる施設・事業所、地域、社会づくりに努めてまいります。



～理事長のインスタグラムより～

トップ3 !!



* 激辛!!
日光みそドレッシング



* クリスマス会



* 岩舟文化祭

◎再度アクセスして、ぜひご確認ください。現在、（ほぼ）毎日更新しています。



各事業所の活動やイベントの様子



— ひのきの杜 —

元日に滝水寺へ初詣に行き、新年の願掛けを行いました。「今年も健康で笑顔の絶えない一年になりますように…」昼食には豪華なおせち料理が出て、「美味しい！」とあっと言う間に完食です。充実したお正月を過ごせました！

支援主任：川田良実



— はまなす —

はまなすでは、新年に向けて餅つき大会を開催しました！(*°▽°*)
杵を持って臼の中にあるお餅をぺったんぺったん……おいしそうなお餅が完成しました！(≥▽≤*)o みんなで良い新年を迎えましょう！(！！)

支援主事：瀬下祐生



— ひのきの杜共生 —

運動会の代替行事としてキッチンカーを呼び、盛大に皆で楽しみました。イベントとしては、日光猿軍団、ウォーキングスタンプリレー等利用者さんが各々で楽しめるようなものばかりでした。キッチンカーでの食事は、利用者さんにとって大好評でした♪また、このような行事ができると良いですね！

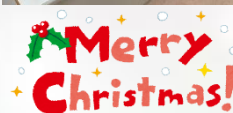
支援主任 津田貴央



— すぎのこ —

現在、すぎのこは改修工事中で、イベントは各チームで行っています。今回のクリスマス会も3チームに分かれ、サンタクロースも大忙し…。みんなでゲームやおやつを食べて楽しく過ごしました！(∩▽∩)。

総括主任：永田昌弘



— やまと —

12月上旬、とちぎ花センターへドライブ外出。お散歩日和+紅葉を観ることができ、皆さんご満悦♪12月下旬には、お正月飾りと破魔矢作りを行いました。素敵な仕上がりですね！(∩▽∩)2023年も良い年でありますように…。

総括主任：膝附 諒

